



第3回ワークショップを開催しました！！

【テーマ：けやき通りにおけるグリーンインフラの活用について】

日時：令和8年2月10日（火） 18:00～19:30 会場：東川口駅前行政センター 会議室1・2

川口市では、市内造園業者である「株式会社 テラヤマ」の協力のもと、グリーンインフラに関するワークショップを開催しました。戸塚地区在住の方を中心に約20名の方々にご参加いただき、参加者は4つのグループに分かれ、それぞれ意見交換などを行いました。

当日は、けやき通りでのグリーンインフラを活用した整備工事について、参加者同士で感想を共有しました。



ワークショップで出された主な意見をご紹介します！

プログラム① 国内グリーンインフラの先進事例を学ぶ

- ・動画を見て夢が膨らんだが、川口に落とし込むには相当な工夫が必要だと思った。
- ・根上がり防止のために植える前に土壌改良をしたほうがいいのでは。
- ・南町田グランベリーパークの広場と道のつながりが魅力的に見えた。
- ・将来を見据えて計画、設計、管理方針などを立案し、維持管理をしなければよいまちづくりはできないと思う。



出典：緑を生かすまちづくりの事例
「東京都・南町田グランベリーパーク」
制作：新緑グリーンインフラチャンネル

プログラム②・③ ウォーカブルなまちづくりとは？

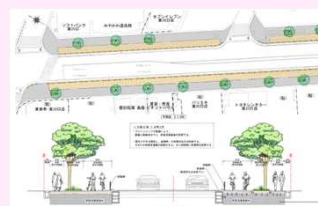
- ・オープンガーデンなども取り入れたらよりウォーカブルな街になると思う。
- ・ウォーカブルなまちになれば、身体だけでなく精神にもいいと感じた。
- ・「ウォーカブルなまち」と「グリーンインフラ」がセットになると、とても分かりやすい。
- ・「歩きたくない道」とはどのようなものなのかを考え、意見交換できる場を作ってほしい。
- ・ウォーカブルな街にするためには、道路だけではなく公園などいろいろな緑を活用するということが理解できた。



出典：国土交通省 都市局「第3回 都市の個性の確立と質や価値の向上に関する懇談会 資料1」
（令和7年1月）

プログラム④ けやき通りのグリーンインフラを共に考える

- ・現在は、商店街ばかりで休憩するオープンスペースがないので、休憩施設があったらいいと感じた。
- ・グリーンインフラがより身近に感じられるようになった。
- ・若木のうちから意識して樹冠を広げるような剪定を行うことが大切だと思う。
- ・けやき通りに隣接する公園を結ぶ道を指定して、ウォーキング道路として整備することで回遊性が高められるのではないかと。



出典：川口市 建設部 公園課

◇ご参加いただいた皆さまへ◇

本ワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございました。

皆さまからのご意見やご質問により、有意義で実りあるワークショップとなりました。今後も、本ワークショップで得られた知見を活かし、より良い成果につなげていく所存です。引き続きのご協力をお願い申し上げます。